

令和7年度 道徳教育 全体計画

学校番号	53	岡谷工業	高等学校	全 課程	工業 科
------	----	------	------	------	------

学校教育目標
(1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質・能力を養うため、教養を高める。 (2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。 (3) 本校伝統の校訓「質実剛健」「至誠一貫」、校是「技術者たる前に人間たれ。」の精神を涵養する。
重点目標
(1) 生徒一人一人が、生き生きと充実した高校生活をおくれる安心安全な環境づくり (2) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつながる教育の実践 (3) 地域に根ざした魅力ある学校づくりとこれからの在り方の検討

道徳教育の重点目標
1 規律ある学校生活を通して、自らを律して行動す力や規範意識・公共心を育む。 2 自他の尊重と協力を重んじ、生命及び人権を貴ぶ心と態度を養う。 3 自己の在り方、生き方を深く考え、主体的に社会に参画し、その発展に寄与しようとする態度を育む。 4 人権を尊重し、差別やいじめのない安心安全な学校生活を目指す。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地歴・公民
1年	・基本的な生活習慣を確立し、規律とけじめのある学校生活を送る。 ・自己及び他者の個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動する態度を養う。	自己理解を深め、身につけたい専門性や将来の職業について展望する。 ○企業講演会 ○知財セミナー ○進路ガイダンス ○考えるワークショップ	・ルールやマナーを大切にする意識と態度を身につける。 ・互いを認め合い、他者と協力して活動する力を身につける。 ○交通安全教室 ○薬物乱用防止講演会 ○人権講話学習 ○性教育講話他	仲間と協力し合う活動の中で、良好な人間関係の形成に努めるとともに、自ら進んで行動する態度を身につける。 ○文化祭 ○委員会活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い道徳的心情や判断力を育む。
					地歴・公民	様々な社会的事象について認識を深めるとともに、自分と社会、自分と他者とのつながりを考えることを通じて、人権意識をもち、社会へ参画し次世代の新たな社会を創造する姿勢を涵養する。
2年	・規律ある学校生活を通して、自らを律して行動する力や規範意識を育む。 ・生活、仕事上の多様な役割及びその関連を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深める。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な目標を立て、体験活動、探究活動に取り組む。 ○進路研究 ○科目選択 ○会社学校見学 ○職業体験	よりよい人間関係の形成に努め、集団の一員として協働して活動する力を身につける。 ○人権学習 ○修学旅行事前学習 ○主権者教育 ○交通安全教室	上級生としてより自律的な行動に努め、目標の実現に向けて他者と協力して取り組む力を身につける。 ○文化祭 ○生徒会の運営 ○委員会活動	数学	数学の見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学の基本的な概念や原理、法則を理解することにより、物事を公正かつ適切に判断する力の基礎を養う。
					理科	自然に対する関心を高め、自然環境の保全に対する態度を育てるとともに、科学的探究心と科学的なものの見方を育成し、道徳的判断力と実践力を養う。
3年	自己の在り方、生き方とともに、社会の諸課題に対しても目を向け、よりよい集団、社会を築こうとする自主的、実践的な態度を養う。	自己の在り方、生き方について深く考えるとともに、自らの進路実現に向けて長期計画を立て着実に実行する。 ○進路講話 ○会社学校見学 ○課題探究 ○進路ガイダンス	よりよい人間関係を維持し、集団の一員として責任をもって諸課題の解決に取り組もうとする態度を身につける。 ○人権学習 ○消費者教育他	最上級生として率先して望ましい人間関係の形成に努め、協力して諸課題を解決しようとする態度を身につける。 ○文化祭の運営 ○生徒会の運営 ○委員会活動	保健体育	健康や安全についての知識を持ち、各種の運動の実践を通して、生涯にわたり健全な生活を送るための体力や能力を培う。
					芸術	主体的、協働的に幅広い芸術活動に取り組む、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
					外国語	外国の言語や文化を通じ理解を深めることによって、国際的な視野を身につけ、国際人としての自覚を養う。
					家庭	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて主体的に家庭や地域を創造する資質や能力を養う。
					工業(環境化学)	化学をとおして事象を科学的な根拠に基づき、論理的に説明できる力を身に付け、環境および社会、周りの人への配慮を常に心がけることができる人間性を培う
					工業(機械)	工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。また、周囲に安心感を与え思いやりの心を持ち安全に配慮ができる職業人としての規範意識倫理観の育成につなげる。
					工業(電子機械)	職業人として工業技術に関して主体的に取り組む、基礎的・基本的な知識と技術をもとに安全教育に配慮し、整理整頓から始まり合理的に実践できる生徒を育てる。
					工業(電気)	電気に関する科学的な見方・考え方を働かせ、社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。
					工業(情報技術)	情報技術を活用する知識と技能を習得し科学的な根拠に基づき、職業人として情報化の進展に対応し解決する力と倫理観を育てる。

家庭・地域との連携	・PTA総会、学年PTA、地区PTA、保護者懇談会等を通して家庭との連携を図り、本校の教育活動に対する理解と協力を得る。 ・保護者アンケート等を通して保護者からの要望、意見を聞き、教育活動の改善を図る。 ・地域社会との連携活動やボランティア活動等を通して公共の精神を養うとともに、地域社会の振興・発展・課題解決に寄与しようとする態度を育てる。
-----------	---